

12月15日 全校朝会

おはようございます。

さて、みなさん、この方が誰だか分かりますか？

アルフレッド・ノーベルというスウェーデンの化学者で、ノーベル賞をつくった方です。ノーベルがつくったノーベル賞は、120年以上の歴史があり「人類に最も大きな貢献をした人」に贈られます。授賞式は、毎年ノーベルが亡くなった12月10日に行われています。今年も、先週12月10日にスウェーデンのストックホルムで行われました。テレビなどで取り上げられていたので見た人もいないのでしょうか。

今年は、なんと二人の日本人の方が受賞されました。ノーベル生理学・医学賞には大阪大学特別栄誉教授の坂口志文（さかぐち しもん）先生、ノーベル化学賞には京都大学特別教授の北川進（きたがわ すすむ）先生が選ばれました。

お二人とも、最初から研究がうまくいっていたわけではありません。始めた当時、常識とは違う研究に挑戦していたため、批判されたこともあったようです。ですが、お二人とも、失敗しても批判されても、この研究が人々の役に立つということを信じて、あきらめずにコツコツと努力を続けてきたのです。

また、過去にノーベル賞を受賞したある方は、「失敗は、自分を前に進める大切な材料です。」と語っています。うまくいかない経験も、新しい発見につながる一歩なのだということが分かります。

さて、みなさんも学習や運動などでうまくいかないことがあるかもしれませんが、でも、そんなときは、「成功までの経験だ」「成長のチャンスだ」と考え取り組んでほしいと思います。

ノーベル賞は、遠い世界の話のように思えるかもしれませんが、「挑戦すること」「続けること」「あきらめないこと」は誰にでもできます。みなさんの成功と成長を楽しみにしています。

これで、お話を終わります。